

阿久根の魅力は
ここで暮らす人たちです。



阿久根市

2019年に神奈川県よりターン

鈴木 晴子さん

1976年生まれ。歯科助手やプライマルアドバイザーなど、経験職種は多数。ヨガのインストラクターの資格も持つ。地域おこし協力隊として阿久根に移住し、株式会社まちの灯台阿久根で観光コンテンツづくりを進めています。

旅するように生きてきて、阿久根にたどり着いた

これまで、ひとところに定着しない生き方をしてきました。経験した職もいろいろですし、海外へ飛び出してカナダやニュージーランドに住んだ時期もあります。阿久根に移住してきたのも、そんな流れの延長線上にあります。

阿久根に旅行で来て、ここがすごく気に入りました。何といっても、海が抜群にきれいです。とくに、夕日が素晴らしい！ 関東だと、海に沈む夕日ってなかなか見られるものではありません。それが、阿久根ではすぐ目の前にあるのです。そして、人と人の距離感が近いことにも驚きました。阿久根旅行中に初対面のおばあさんに話しかけられてすごく仲良くなったことがあって、新鮮な感覚で楽しかったのです。その体験も移住の決め手にもなりました。

人と人のつながりが、どんどん広がっていく

「まちの灯台阿久根」は地域おこし協力隊の卒業生が立ち上げた会社です。ここでは、体験型の観光コンテンツ作りを進めていて、私もこのお手伝いをしています。取材をして、面白いヒトやコトを探し出し、体験型観光を作っていきます。すでに稼働しているものとしては、竹細工やウニ殻アートなどがあります。ボンタンやピワなど魅力的な農作物も多く、こちら方面の体験も面白いものができそうです。今の段階（2021年2月時点）で20ほどのコンテンツができつつあり、これから打ち出していきます。

この取り組みを通して、たくさんの人とつながりができます。いろいろな世代の方、いろいろな職種の方、いろいろな立場の方と仲良くなれました。これって、都会暮らし

ではあまり体験できない感覚なのです。東京では電車などで知らない人と話すことはまずありません。一方、阿久根ではよく声をかけられます。私は、阿久根流の人間関係のほうが面白く感じます。そして、阿久根には魅力的な人が多いのです。人を通して阿久根の魅力を伝えることで、地域を盛り上げていけると思っています。

交流が生まれる仕掛けを、自分らしく作っていききたい

具体的な計画についてはまだまだですが、将来は阿久根で自分の事業を立ち上げようと思っています。

やりたいのは、阿久根と都会をつなぐ交流の場を提供すること。海が見える場所にヨガスタジオ兼カフェを作って、ここでイベントを開催したり、県外から人を呼ぶ仕掛けを作ったり…といった感じが理想ですね。

